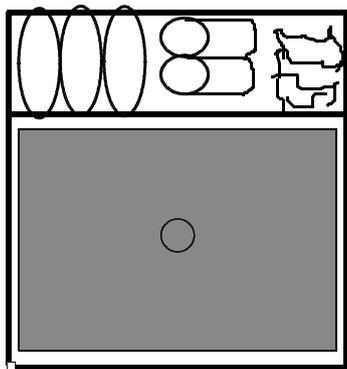


ときわ通信

文責；いわき市立湯本第二小学校長 小川幸一

お弁当の思い出 ～親子ふれあい弁当デー～



26日は、「親子」ふれあい弁当デー」でした。
これは、親子でお弁当を作ることで、次のことをねらいとしています。

- ① 食材を購入したり調理したりすることで、食への関心を高める
- ② 親子のコミュニケーションを多くする
- ③ 感謝の気持ちを持つ(家族、食材、自然、生産者等へ)

親子で楽しくお弁当作りができたでしょうか？本校では68%の子ども達がお家の人と一緒に弁当作りをしたようです。

さて、ここで、お弁当にまつわる私のエピソードを紹介します。

<小学生の頃>

上のお弁当の絵は、私が小学生の時に作ってもらったお弁当です。左のおかずは卵焼き、真ん中は魚とソーセージ、右が漬け物。中心に梅干し、その上に醤油に浸したのりを敷き詰めたご飯。これが定番でした。なぜ魚とソーセージかというと裕福ではなかったからです。友達も、焼き肉や鮭を持ってきていましたが、ソーセージは私にとって最高のタンパク源でした。それでも、お弁当の日の前は母親と近所の八百屋と一緒にいき、ソーセージを買ってもらうのが楽しみでした。(一緒に行ったのは、ソーセージを買うか確かめるためでもありましたが…) だから、今でも妻に作ってもらった弁当の基本はこれ。ただし今はウインナー。



私の弁当
(白黒ではわからないかも)

<中学生の頃>

土曜日は部活があるのでお弁当でした。相変わらず同じようなおかずでしたが、中学生ともなると家も少しゆとりが出てきたのか、揚げ物や肉も入るようになりました。朝練のため6時30分には家を出なければならないので、5時頃から起きてお弁当を作ってくれた母親には、いつしか感謝の念を、父親にはいいごちそうを食わせてくれるようになった建具職人としてのがんばりに尊敬の念を抱くようになりました。

あるとき、親友の米山君が「いいなあ。」とひと言漏らしました。なぜかというと、米山君の家は八百屋で朝から忙しく、母親がおかずを作る暇がないので、いつも店にある缶詰(主にコンビーフ)でした。私にしてみれば贅沢なおかずで逆にうらやましかったのですが、手作りの物にあこがれているようでした。しかし、米山君は家庭の事情をよく理解しているので、決して家族を恨んではいませんでした。

<親になって>

一番下の子どもが6年前、小学生の時に骨折で2ヶ月入院しました。その上の子どもは高校生。この間、上の子どもの弁当は私が作りました。しかし作れる物は決まっています。それは、自分が小学生の時に食べたお弁当。ある時、色気を出して「ちくわの磯辺揚げ」を添えました。それを食べた息子は下痢まっしぐら。なんと賞味期限を5日くらい過ぎていました。以来、子ども達は賞味期限を気にするようになりました。トホホ…

皆さんも、お弁当にまつわるエピソードをお子さんに聞かせてあげるときっと喜ぶでしょう。

～ 1 2 月の行事予定 ～

1 日(月)	持久走大会 避難訓練 5 校時限下校	9 日(火)	5 校時限下校 学校保健委員会
2 日(火)	5 年生幼稚園児との接し方教室	1 1 日(木)	5 校時限下校 地区なかよし会 広野中入学説明会
3 日(水)	集金日	1 3 日(土)	いわき市 P T A 研究大会
4 日(木)	5・6 年生つなぐ教育教育講演 会(湯本三中にて) 保護者の聴講大歓迎	1 5 日(月)	1・2 年生リズム体操
5 日(金)	お弁当の日 授業参観、学級懇談会	1 9 日(金)	湯本一中入学説明会
8 日(月)	5 校時限下校	2 2 日(月)	第二学期終業式 美化活動
		2 3 日(火)	天皇誕生日
		2 4 日(水)	冬季休業日(～1 月 7 日)
		2 9 日(月)～1 月 3 日(土)	年末年始休業

6 年生「しんせつ館訪問」 ご老人が後のふれあいを通して学んだこと

6 年生が総合的な学習の一環として老人福祉施設の「しんせつ館」を訪れ、たくさんのご老人方とふれあい、有意義な時を過ごしました。6 年生の感想の一部を紹介します。

よかったこと・うれしかったこと		交流を通して気がついたことや感じたこと	
AS	おばあちゃんたちが楽しそうにやってくれてうれしかった。	MT	耳や目が不自由な人がいて近くでゆっくりはっきり大きな声で話すことが大切
KH	名前を呼ぶと返事をしてくれたこと	AS	お年寄りには耳が遠くなって聞こえづらくなったり手すりが必要になったりして大変
SS	みんなが喜んでくれたこと。最初の歌の時にすぐ拍手してくれたのがうれしかった	TT	耳のあまり聞こえない人とグループだったので交流するのが難しかった。
MI	折り紙やぬり絵をやって「楽しかったよ」とか「また来てね」といってくれたこと	TM	おじいちゃん、おばあちゃんに教えるのが大変だなと感じました。
TS	おじいちゃん、おばあちゃんが喜んでくれた。笑顔になってくれた。また交流したい。	KK	ご老人と一緒に楽しめたと思う。
HS	一緒に折り紙をできたのがよかった。一つ折り方を教えてもらったのがうれしかった。	MS	私のおじいちゃんおばあちゃんとは少ししか遊んだことがなかったので、不安だったけど、笑顔で私達と接してくれたのでよかった。
YT	老人との交流ができて本当によかったと思います。自分にとっていい経験でした。	YW	お年寄りの人はやっぱり耳や目や手足が不自由な人がいるから気遣ってあげなきゃなと感じました。
RI	私は昨日祖母を亡くしてショックを受けていたけど、しんせつ館の人たちの笑っている顔を見て祖母がいるみたいでうれしかった。	RM	ご老人方は、それぞれ個性があることに気がつきました。
YK	ありがとうなど感謝の声を聞かせてもらったこと。	KM	お年寄りの方々は皆元気があったのもっと長生きして来年、再来年と二小の皆と遊んでほしいと思いました。あまり大きすぎる声は聞こえづらいということ。
HM	一緒に折り紙やトランプ [®] をして私達も楽しかったしおじいさんやおばあさんも喜んでくれて「楽しい」と言ってくれたのでよかった。	AM	交流を通しておじいちゃんおばあちゃんの気持ちが少し伝わってきた。罰ゲームなどで気を遣った部分もありましたが私達が行ってとても喜んでくれてうれしかった。
RE	トランプ [®] や折り紙などをして楽しんでくれたこと。ありがとうと言ってくれたこと。	MO	短い時間の交流だったけど、この交流を通してお年寄りへの対応の仕方が変わったなと思いました。お年寄りの方に元気をもらいました。
AK	COSUMOSU を歌って喜んでくれたのがうれしく、ハハ [®] 抜きをお年寄りの方々とやったのが楽しかったです。		

全部を載せることができないことが残念ですが、始め緊張していた子ども達ですが次第に打ち解け、本当に相手の身になって一緒に遊ぶ姿が見られました。

核家族化が進む現代社会で、社会的弱者への虐待などの痛ましい事件をよく耳にします。小さい頃からいろいろな人たちと交流することは、一番の人間教育になることを切に感じさせられました。



資料活用能力・思考力・判断力の向上をめざして 真剣です

これは社会科の授業研究の様子です。子ども達の学力向上に向け、社会科を中心にたくさんの先生方の協力を仰ぎながら研究しています。

繰り返しお願いします。「みんなでそだてるゆもとっ子」を再度ご覧いただき、家庭学習の習慣づくりにご協力ください。お子さんの未来のために。